

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

阿久根市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県阿久根市

3 地域再生計画の区域

鹿児島県阿久根市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和30年の41,180人をピークに減少しており、令和2年度の国勢調査では19,270人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和32年（2050年）には50.4%減少し、9,559人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態では、平成2年と令和2年で比較すると、年少人口（0～14歳）は4,927人から1,967人へ、生産年齢人口（15～64歳）は17,072人から9,177人に減少しているが、高齢人口は5,865人から8,050人へ増加しており、今後も少子高齢化が進むことが想定される。

自然動態では、出生数は令和元年に100人を切り、90人から80人で推移している。その一方で、死亡数はおおむね400人前後で推移しており、出生数から死亡数を差し引いた自然増減は、令和5年に▲333人（自然減）となっている。

社会動態では、平成26年から令和5年の過去10年間において、転入者数は平均587人、転出者数は平均719人であり、転出者数が転入者数を上回る社会減が続いている。

社会減の年齢構成では、20歳未満男性と20歳代女性の転出が多くを占め、進学や就職、結婚等での転出が主な要因と考えられる。

また、若年女性（20～30歳代女性）の純移動では、平均して減少傾向にあり、出生数の減少、合計特殊出生率の低下に大きな影響を及ぼしている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、労働力・雇用の減少、地域経済の停

滞、さらには地域コミュニティの機能低下等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、本市のまちの将来像である「帰ってきたくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね」の実現に向け、本計画において、次の事項を基本目標として掲げ、各種施策を実施する。

- ・基本目標 1 阿久根に産業の成長をつくる。
- ・基本目標 2 阿久根に人の流れをつくる。
- ・基本目標 3 阿久根に家族の夢をつくる。
- ・基本目標 4 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。
- ・基本目標 5 阿久根に安全で快適な環境をつくる。
- ・基本目標 6 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市町村民所得	243万円	県平均以上	基本目標 1
イ	観光消費額 (増加率)	対前年比 増減率 県平均18.8%	対前年比 増減率 県平均以上	基本目標 2
ウ	若年女性 (20~30歳代) 人口減少率	8.35%	基準値以下	基本目標 3
エ	健康寿命	男 78.5歳 女 83.4歳	出水医療圏 平均以上	基本目標 4
オ	マイクログリッド事業をはじめとしたCO2削減量	436.5t-CO2	670.0t-CO2	基本目標 5
カ	行かない・書かない窓口利用者の満足度	3.29	3.50	基本目標 6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

阿久根市まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 阿久根に産業の成長をつくる事業

イ 阿久根に人の流れをつくる事業

ウ 阿久根に家族の夢をつくる事業

エ 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる事業

オ 阿久根に安全で快適な環境をつくる事業

カ 阿久根にデジタル生活基盤をつくる事業

② 事業の内容

ア 阿久根に産業の成長をつくる事業

人材・人手不足等に伴う既存事業の市場縮小など、厳しい経営環境の中でも様々な事業に挑戦する市内企業等を積極的に支援し、市内の事業者を守りつつ、市内にこれまでなかった新たな産業を創出する事業

【具体的な事業】

- ・人材・人手不足への対策
- ・生産性向上に関する取組への支援
- ・新商品開発、販路拡大等に関する取組への支援
- ・スマート水産業の推進
- ・農業・畜産業のスマート化による生産性の向上
- ・森林の整備・放置竹林の解消 等

イ 阿久根に人の流れをつくる事業

人口の社会増の実現に向け、本市への移住・定住の第一歩として、多くの人に本市の魅力を発信し、興味をもっていただくとともに、地域力の向

上を図る事業

【具体的な事業】

- ・体験型観光コンテンツの充実と飲食・宿泊業との連携
- ・「食」に特化した取組の強化
- ・人流データ等を活用した効果的なPR
- ・産業祭等のイベントの定期開催
- ・ふるさと納税における返礼品の充実
- ・お試し移住住宅の整備 等

ウ 阿久根に家族の夢をつくる事業

若年女性の人口が減少傾向にある中、希望する方が安心して結婚・出産・子育てできる切れ目のない支援体制を構築するとともに、将来を担う人材の育成を図る事業

【具体的な事業】

- ・婚活イベントの広域実施
- ・子育て支援コンシェルジュによる相談支援
- ・出生祝い商品券、保育料の完全無償化
- ・新たな図書館の整備
- ・小・中学校における学習指導やICT環境の整備
- ・鶴翔高校との連携事業 等

エ 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる事業

高齢者、介護、障がいの個々の枠組みでなく、一人ひとりがお互いを尊重し、助け合い、孤立することなく、安心して地域で暮らすことができる社会を構築する事業

【具体的な事業】

- ・特定健康診査、がん検診の実施
- ・医療体制の維持・確保への支援
- ・要援護者の支援体制の整備
- ・フレイル予防活動
- ・障がい児・障がい者への各種支援
- ・あくね男女共同参画プランの推進 等

オ 阿久根に安全で快適な環境をつくる事業

2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、限りある資源を生かし、再生可能エネルギーの普及促進、社会インフラの維持・整備などを進めていく事業

【具体的な事業】

- ・マイクログリッド事業をはじめとした再生可能エネルギーの取組推進
- ・生ごみ堆肥化事業
- ・リユース・リサイクルに関する取組の強化
- ・消防車両及び資機材の整備・更新
- ・安全な道・橋・川・公園の整備
- ・乗合タクシーの維持
- ・県・沿線市町との連携による肥薩おれんじ鉄道の利用促進 等

カ 阿久根にデジタル生活基盤をつくる事業

年齢・障がいの有無・国籍等にかかわらず、「誰一人取り残さない、市民にやさしいデジタル化」の実現に向けた環境づくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・マイナンバーカードの取得推進
- ・各種手続のオンライン化の拡充
- ・デジタルデバイト対策 等

※ なお、詳細は阿久根市まちづくりビジョン（第3期 笑顔あふれる阿久根市人口ビジョン及び総合戦略）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（令和7年度～令和11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、実績値を企画推進課で取りまとめ、8月～9月に外部有識者等を含む「阿久根市まちづくりビジョン等施策検証委員会」による効果検証を行い、次年度以降の取組方針を決定する。目標の達成状況等については、検証委員会終了後に市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和 12 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和 12 年 3 月 31 日まで